

# 令和4年度 第3回神戸市就学・教育支援委員会 次第

令和4年12月15日(木) 15:00～  
神戸市総合教育センター601号室

## 1. 開会

## 2. 内容

(1) 訪問教育のあり方について

【資料1】

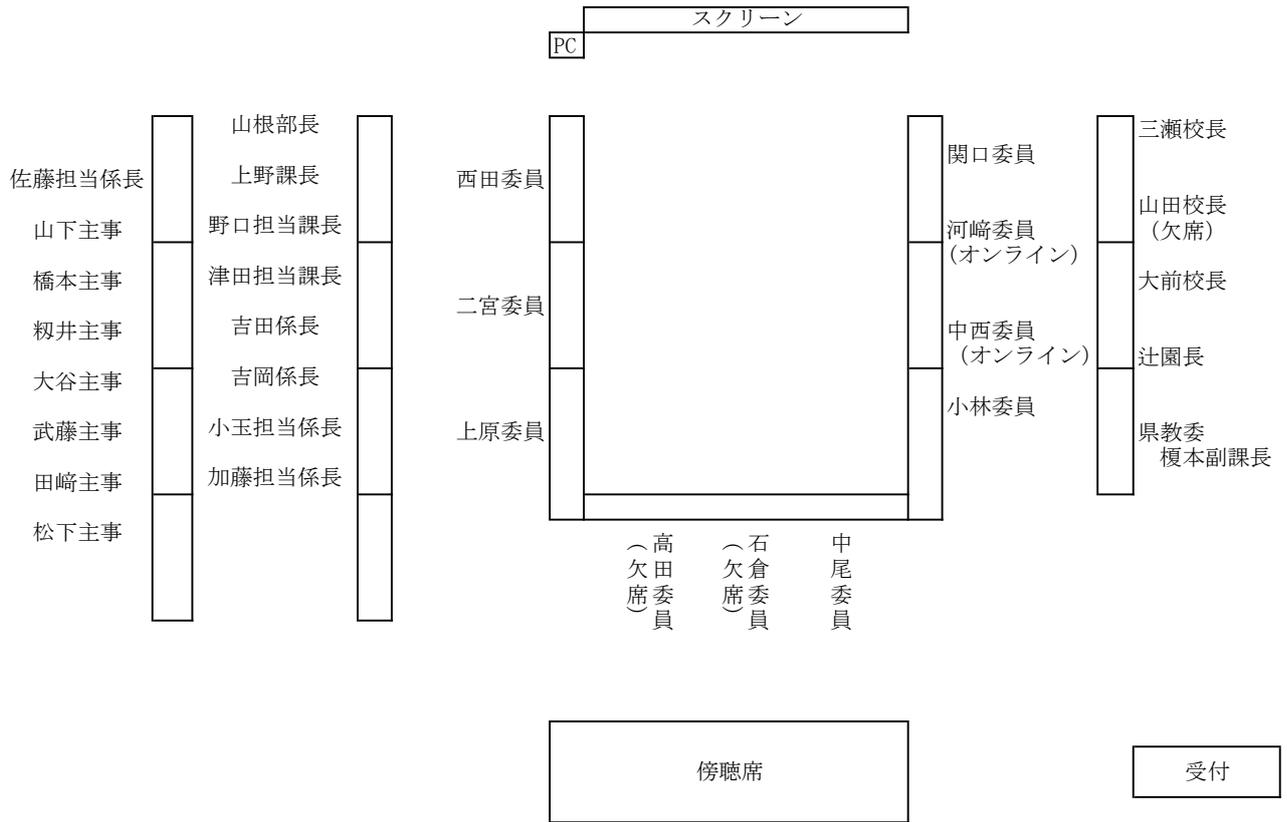
(2) 校内支援委員会 判断報告(特別支援学級)について

## 3. 事務連絡

## 4. 閉会

令和4年度 第3回神戸市就学・教育支援委員会 座席表

KEC601号室



## 令和4年度 神戸市就学・教育支援委員会 委員等一覧

	名前	所属等	専門等
委員	石倉 健二	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科教授	発達心理
	中尾 繁樹	関西国際大学 教育学部学部長	教育心理
	小林 大介	兵庫県立こども病院 整形外科部長	整形外科
	上原 奈津美	神戸大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科助教	耳鼻咽喉科
	高田 哲	こども家庭局 総合療育センター 診療担当部長	小児科
	中西 裕子	神戸大学医学部附属病院 眼科准教授	眼科
	河崎 洋子	にこにこハウス医療福祉センター施設長	小児神経科
	関口 典子	兵庫県立こども病院 精神神経科部長	児童精神科
	西田 和子	元神戸総合医療専門学校 学科長	言語聴覚士
	二宮 啓子	神戸市看護大学 学生部長	小児看護学
オブザーバー	榎本 好子	兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課 副課長	
	大前 稔	魚崎中学校長(中学校教育実践研修特別支援教育グループ)	
	山田 義明	高羽小学校長(小学校教育実践研修特別支援教育グループ)	
	三瀬 博道	いぶき明生支援学校長(特別支援学校校長会)	
	辻 郁子	有野幼稚園長(幼稚園教育実践研修特別支援教育グループ)	
事務局	山根 拓生	教育委員会事務局 学校教育部長	
	市邊 裕喜	教育委員会事務局 学校経営支援課長	
	上野 昌稔	教育委員会事務局 特別支援教育課長	
	野口 千晶	教育委員会事務局 特別支援教育課 担当課長	
	津田 朋厚	教育委員会事務局 特別支援教育課 担当課長 特別支援教育相談センター長	
	吉田 泰宏	教育委員会事務局 特別支援教育課 推進係長	
	小玉 誠	教育委員会事務局 特別支援教育課 担当係長	
	吉岡 邦夫	教育委員会事務局 特別支援教育課 管理係長	
	佐藤 亘	教育委員会事務局 特別支援教育課 担当係長	中央区担当
	加藤 剛志	教育委員会事務局 特別支援教育課 担当係長	特別支援教育相談センター
	大谷 芳樹	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	知的障害、東灘区・灘区担当
	山下 政子	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	LD・ADHD、難聴教育・兵庫区担当
	橋本 繁仁	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	視覚障害、北区担当
	靱井 雄太	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	自閉症・情緒障害、須磨区担当
	田崎 裕介	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	肢体不自由、長田区担当、学校園医療のケア
	武藤 愛	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	言語・聴覚障害、垂水区担当
	松下 岳人	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	病弱・身体虚弱、西区担当

# 神戸市の病弱・肢体院内学級について



# 各病弱・肢体院内学級・訪問学級の所在地

兵庫県神戸市

にこにこ学級（施設訪問）  
（いぶき明生支援学校・にこにこハウス医療福祉センター）

ココロネ学級（施設訪問）※来年度より  
（灘さくら支援学校・サポートハウスココロネ住吉）

神戸祇園小学校 なのはな学級  
湊翔楠中学校 ひまわり学級  
（院内）  
（神戸大学医学部附属病院）

ひだまり学級（施設訪問）  
（灘さくら支援学校・神戸医療福祉センターひだまり）

いぶき明生支援学校（本校）

灘さくら支援学校（本校）

みどり学級（訪問）  
（いぶき明生支援学校・元町北会館内）

友生支援学校（本校）

みなと分教室（院内）  
（友生支援学校・兵庫県立こども病院）



# 各校の現状について(R4.10.1現在)肢体不自由訪問教育

## ①ひだまり教室（灘さくら支援学校）

### 在籍数

学年	人数
高2	1名



### 指導の状況

担当教員：1名

週2回（火・木）

自立活動中心に2コマ（合計80分）実施



# 各校の現状について（R4.10.1現在）肢体不自由訪問教育部 ②にこここ学級（いぶき明生支援学校）

## 在籍数

学年	人数
中1	1名
中2	1名
高2	2名（過年度生）
高3	3名（過年度生）
合計	7名

## 指導の状況

担当教員：3名

1日1時間、週に4～5時間の学習時間を設定し、自立活動や合わせた指導、教科では図工や音楽などを中心に学習に取り組んでいる。



# 各校の現状について (R4.10.1現在)

## ②みなと分教室・わらび学級 (友生支援学校・病弱部門)

### 在籍数

みなと分教室 (院内)

学年	人数
小2	2名
小3	2名
小5	1名
合計	5名

学年	人数
中1	4名
中2	2名
中3	3名
合計	9名

わらび学級 (訪問)

学年	人数
小2	1名
小6	1名
中2	1名
合計	3名

その他学習支援：小2名 中1名 計3名

### 指導の状況

担当教員：12名 (うち教頭1名)

小学部：午前1～2コマ 午後1コマ

中学部：午前2コマ 午後1～2コマ

※治療の時間や体調に配慮し、時間数が変わることもある。



# みなと分教室・わらび学級（友生支援学校）

## ・ICTを活用した取り組み

遠隔会議でオンライン動物園



テレロボで献血ルーム見学とインタビュー

# 各校の現状について (R4.10.1現在)

## ③みどり学級 (いぶき明生支援学校) (在宅肢体不自由訪問教育部)

### 在籍数

学年	人数
小3	1名
小4	1名
中1	1名 (ココロネ)
中2	1名
合計	4名

### 指導の状況

担当教員：2名

一人週2回

本人の体調に合わせて、1回につき2時間実施

いぶき明生支援学校(本校)



# 各校の現状について（R4.10.1現在） 病弱院内学級

## ④神戸祇園小学校なのはな学級（神戸大学医学部付属病院）

### 在籍数

学年	人数
小1	2名
小2	1名
合計	3名



### 指導の状況

担当教員：1名

毎日、午前1時間、午後1時間程度

本人の体調に合わせて実施



# 各校の現状について（R4.10.1現在） 病弱院内学級

## ④ 湊翔楠中学校ひまわり学級（神戸大学医学部附属病院）

### 在籍数

学年	人数
中1	2名
中2	1名
合計	3名



### 指導の状況

担当教員：1名  
毎日より1時間実施  
体調に合わせて実施



# 課題の整理

- ① 神戸医療福祉センターひだまり（R4年度）  
サポートハウスココロネ住吉（R5年度）  
施設に最も近い肢体不自由部門のある特別支援学校に訪問学級を設置

## 《ねらい》

- ・本校から巡回訪問指導として対応できる。
- ・スクーリングの際、利便性がある。
- ・担当教員は本校での業務を通して専門性を高めることがより  
できやすい環境となる。

# 課題

みどり学級（在宅肢体不自由訪問教育部）  
主たる勤務地（元町北会館）JR元町駅北

いぶき明生支援学校(本校)



## 課題

- ① 本校と主たる勤務地が遠隔である。
  - ・本校との連携が困難
- ② 一拠点から全市をカバーすることの利便性の問題
- ③ スクリーニングにおいて居住地により、移動時間に大きな差が出る。

## 方向性

居住地に近い肢体不自由部門のある支援学校が在宅肢体不自由訪問教育を担当する。

# 各病弱・肢体院内学級・訪問学級体制（案）



にこにこ学級（施設訪問）  
（いぶき明生支援学校・にこにこハウス医療福祉センター）

神戸祇園小学校 なのはな学級  
湊翔楠中学校 ひまわり学級  
（院内）  
（神戸大学医学部附属病院）

ココロネ学級（施設訪問）※来年度より  
（灘さくら支援学校・サポートハウスココロネ住吉）

ひだまり学級（施設訪問）  
（灘さくら支援学校・神戸医療福祉センターひだまり）

いぶき明生支援学校（本校）

青陽須磨支援学校

灘さくら支援学校

友生支援学校（本校）

みなと分教室（院内）  
（友生支援学校・兵庫県立こども病院）

## 今後の課題（問題提議として）

- ▶ 本校在籍の児童生徒で体調面等の問題から登校日数が減少している場合、訪問教育部門への変更をどのように考え、整理していくべきか。
- ▶ 次年度以降、意見聴取を検討